

「小鳥の鳴き声を楽譜にする」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

小鳥の鳴き声を、的確に他者に伝えるのは非常に難しい。例えば「聞きなし」という方法がある。鳴き声を何かしらの「言葉(日本語)」に置き換えて伝える方法だ。有名なのはウグイスの「ホーホケキョ(法、法華経)」、ホトトギスの「トッキョキョカキョク(特許許可局・・・実際のお役所は特許庁)」、イカルの「ショキチョウキミ(書記長、君?)」などなど・・・鳴き声をそのままカタカナで表現する場合もある。例えば、シジュウカラは「ツーピ、ツーピ、ツーピ、ツー」と聞こえる。この表現は、結構シジュウカラの声を、正確に伝えているように思う。しかし、ほとんどの野鳥の場合、鳴き声を文字で伝えることは、非常に難しい。

北軽井沢の多い野鳥に「コガラ(小雀)」がいる。シジュウカラよりも小型で、このあたりではヒガラに次いで



で小さな野鳥だ。鳴き声は「チチチー、チーチーチー」と聞こえる。しかし、この表記では、抑揚が全くわからない。私は試しに楽譜にしてみました。これをキーボードのフルートの音で演奏してみたら、音質こそちがうが、コガラの鳴き声の抑揚は、ほぼ完全に再現していた。これは面白い。他の小鳥でも試してみたいと思った。

(上)「コガラの鳴き声の楽譜」 作譜; C. Tanaka 4・5音目のCis(ド#)は、個体によってはもっと高い。

(下)「さえざるコガラ」 *Parus montanus* (シジュウカラ科) 北軽井沢 撮影; C. Tanaka

